

**未来医療研究人材養成拠点形成事業  
 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント  
 [テーマA：メディカル・イノベーション推進人材の養成]**

		整理番号	A - 5
<b>申請担当大学名 ( 連携大学名 )</b>	金沢大学		
<b>事業名</b>	第三の道：医療革新を専門とする医師の養成		
<b>事業責任者</b>	医薬保健学域 域長・教授 井関 尚一		
<b>事業の概要</b>			
<p>医療の革新を担う医師は、すぐれた研究医であることが前提となり、かつ臨床課題の解決のために研究成果を実用化する能力を持つ必要がある。この考えに立ち、本事業では医学部(本学では医学類)学士課程、卒後初期臨床研修、大学院医学博士課程を一貫した「メディカル・イノベーションコース」を設置する。学士課程では研究への動機とグローバルな視野の涵養を行い、初期研修から大学院博士課程では医療革新において実績のある特定専門分野の指導のもとに、実用化を視野においた学位研究をいち早く開始させる。また大学院の「メディカル・イノベーションプログラム」に基づき、学内外、国内外の機関や企業の協力を得て、医薬品、医療機器、診療技術の開発や規制に必要な知識や思考法を講義と演習により教育し、研修も行なう。修了後のキャリアとして、男女医師が企業等に就職し、また自ら起業する道も開く。本事業で養成するのは医療革新を専門とする医師である。</p>			
<b>推進委員会からの主なコメント</b> : 優れた点等、 : 改善を要する点等			
<p>医療革新を専門とする医師を第三の道と定義し、医学部学士課程、初期臨床研修、大学院医学博士課程の一貫した「メディカルイノベーションコース」の設置により、優れた研究医と臨床課題解決のための研究成果を実用化する能力を養成する新たな取組は、医療イノベーションに対する新たな人材養成プログラムとして非常に優れている。</p> <p>育成する人材像が具体的に示されている。</p> <p>インターンシップ体制について、期間・構成等について、実践性に不足を感じるため、より効果的な方法を検討いただきたい。</p> <p>教育内容は、従来から橋渡し研究として行われてきた内容にとどまっており、日本における革新的医療の海外展開などグローバルな視点も必要ではないか。</p>			